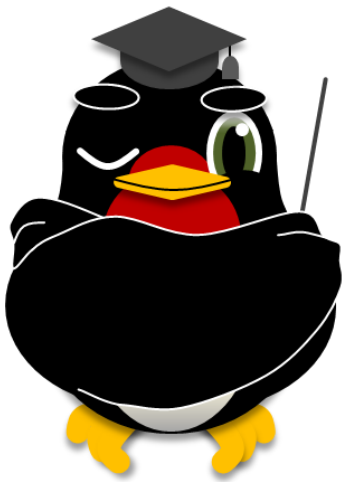
平成２７年度
羽ばたけつばくろ応援事業
事業報告書



燕市教育委員会

～小学生から２０歳までのみなさんの『夢』を募集します～
羽ばたけつばくろ応援事業

燕市では、若者の主体的な活動を応援する、「羽ばたけつばくろ応援事業」を始めました。

対象は、「燕市に住所を有する高校生から２０歳までの個人」または「燕市に住所を有する小学生から２０歳までの者が代表となる団体・グループ」とし、将来を担う人材の育成を目指します。

目標や夢を実現するための、自己啓発、学習、視察などの活動や、地域で取り組むイベント、地域活動など社会参画事業の企画を募集し、個人は１０万円、団体は２５万円を限度にして補助を行います。

これまで支援の範囲に入りづらかった高校生も対象にし、夢のある・柔軟な企画を募集することで、「自分の夢や目標を叶えるため」、「住んでいるまちをもっとよくしたい」という一歩踏み出すきっかけづくりを応援していきます！

分水地区小学校区児童会　・・・　Ｐ３～４

（代表：分水小学校６年生　西海土（さいかち） 和花（あいか）　構成員３名）

活動テーマ：「分水大好き　音楽大好き　秋の音楽会」

分水地区の小学校児童会が中心となり、音楽をとおして交流をおこない、それぞれの学校の校歌をプロの歌手に歌ってもらい、あらためて校歌の素晴らしさを互いに確かめ合います。また、音楽を志した理由や音楽家としての生き方についてもお話を伺いました。

11/19 音楽会開催

燕の野菜を愛する会　・・・　Ｐ５～６

（代表：県立燕中等教育学校３年生　吉田（よしだ） 真由（まゆ）　構成員３名）

活動テーマ：「野菜と農家応援プロジェクト」

燕市の野菜農家を応援するため、地元野菜を使った美味しいレシピづくりや消費者の声を調査するとともに、野菜の魅力を伝える冊子を作り、地域農業の魅力を広く発信します。

今回は、里芋に絞り活動を展開しました。

1/16　考案レシピ「里芋のポタージュ」を披露（レストラン K-STYLE）

市内直売所など取材

小池中学校生徒会　・・・　Ｐ７～８

（代表：小池中学校３年生　登坂（とさか） 拓海（たくみ）　構成員５名）

活動テーマ：「糸半（いとはん）プロジェクト」

学校内会員募集に始まり、地元自治会との会合やお年寄り宅訪問などを行いました。その他、イベント後のゴミ拾い、ごみ収納場所の清掃など地域への貢献活動を行いました。

河上 鈴華（かわかみ すずか） ・・・ Ｐ9～１０

（県立燕中等教育学校５年生）
活動テーマ：「私にできる国際交流」
8/6 から 8/17 までアメリカ合衆国のサンフランシスコを訪問し、東南アジア系のホストファミリー宅にホームスティし地元ミルズ高校で語学交流や文化の交流を行った。

windows（ういんどうず） ・・・ Ｐ１１～１２

（代表：県立燕中等教育学校５年生 佐藤（さとう） 里佳子（りかこ） 構成員３名）
活動テーマ：「全世代版わたしたちのまち燕市制作プロジェクト」
小学校社会科の副読本「わたしたちのまち燕市」のオリジナル版の制作を行い燕市の良さを再発見し広めるため、また、将来企画編集に携わる仕事を目指す第一歩としたい。
市内企業など取材し、現在編集が完了、印刷準備中

高橋（たかはし） 哉弥（かなや） ・・・ Ｐ１３～１４

（代表：県立燕中等教育学校５年生）
活動テーマ：「IT × 燕」
サマーキャンプへ参加し、プログラミング・IT について学び、IT 分野で働いている方々が集う「下北沢オープンカフェ」で情報交換を行ってきました。その成果を基に燕市生活便利アプリ（八百屋版）を製作し公開予定です。
8/17～18 IT 関連サマーキャンプ参加
8/19 下北沢オープンソースカフェ訪問
現在 燕生活便利マップ製作中

NADO（など） ・・・ Ｐ１５～１６

（代表：県立新潟高校３年生 山後（さんご） 緑（みどり） 構成員 12 名）
活動テーマ：「ものがたりカフェ」
県内各地のカフェなどに様々な高校から高校生を集め、交流し、様々なテーマに沿ったイベントを開催しました。人と交流することで自分の視野を広げることができ、新潟県の高校生の交流の輪が広がっています。
8/12 ニイガタ高校生バーベキュー大会（弥彦村）
9/12 ものがたりカフェ（燕市）
1/24 第２回新潟高校生サミット（アオーレ長岡）

分水3小学校区　地域のみな様
　　保護者のみな様

夢の音楽会

☆招待状☆

開さい日：11月19日（木）
時間：午後2時から3時30分
場所：分水小学校（体育館）
曲目（予定）
　☆プロが歌うわたしたちの校歌
　☆各楽器の音色を聞こう！
　　ヴァイオリン独奏
　　チェロ独奏
　　ソプラノ独奏
　☆「夢」についてお話を聞こう
　☆オペラの名曲をオーケストラのような伴奏で聞いてみよう
　☆みんながよく知っている曲を生演奏で！
　☆みんなで歌おう！

この音楽会は、「森市羽ばたけつばくろ応援事業」に三小学校の児童会が中心になって応募しました。その結果、補助金交付が決定しました。先生方の支援を受けながらも、自分たちの手で成功できるようにしてきました。たくさんの方々に聞いてもらいたいと思っています。

分水大好き　音楽大好き　夢の音楽会

分水地区小学校児童会
(若竹・青空・あおぞら児童会)
代表　　西海土　和花

活動の目標	分水地区の小学校児童会が中心となり、音楽を通して交流をします。音楽鑑賞では、それぞれの学校の校歌をプロの歌手に歌っていただき、改めて校歌の素晴らしさを互いに確かめ合います。また、音楽を志した理由や音楽家としての生き方についてもお話ししていただきます。
活動の内容	●実行委員会の立ち上げと企画・運営 ●当日の内容 ①児童会代表のあいさつ ②ゲストの紹介 ③第一部　互いの校歌を知る ④第二部　音楽と共に生きるすばらしさを聞く ⑤第三部　音楽を鑑賞する ⑥感想発表と夢発表 ⑦終わりのあいさつ
活動の成果	２回の実行委員会を経て、当日の音楽会を開催した。分水地区３小学校児童会が一つになって、企画・運営することができた。プロの声楽家による校歌斉唱や生の演奏を身近に聞くことができた感動は大きい。音楽を通して、母校愛と他校との絆を深めることができた。また、新潟日報の記事として取り上げられた。
これからの目標	振り返り(評価)で、「夢をもつこと」についての数値が思っていたよりも上がらなかった。今後は、音楽だけでなく様々な分野で活躍している方をお招きして活動の幅を広げていきたい。

野菜直売所ほのかシェフ　鈴木武さんより

里芋と牛肉のカキソース炒め

材料
- 里芋…400ｇ
- 牛肉…200ｇ
- しめじ…1パック
- 長ネギ…1本
- 塩コショウ…適量
- 片栗粉…適量
- A
  - 醤油…大さじ1
  - カキソース…大さじ1
  - グラニュー糖…小さじ1
  - 中華スープ…大さじ3
  - 水溶き片栗粉…適量
  - ニンニク…少々
  - ショウガ…少々
  - ごま油…少々

① 里芋の皮をむき、乱切りにして、低めの油に入れ、温度を上げて、きつね色に揚げ、途中から塩コショウと片栗粉をまぶした牛肉としめじも揚げる。
② 鍋でネギとＡを入れ、そこに先ほど揚げた里芋、しめじ、牛肉を入れ炒め合わせる。
③ 仕上げにごま油をかけて仕上げる。

高の野菜を愛する会

FREE

サトイモ

高の野菜を愛する会オリジナルメニュー

里芋ドーナツ

材料
- ホットケーキミックス…100g
- 里芋…150g
- 揚げ油…適量
- 打ち粉…適量

① 里芋の皮をむき、火を通して潰す。
② ホットケーキミックスを加え、一つの塊になるまでこねる。
③ 打ち粉をし、ドーナツの形に整え、160℃に熱した揚げ油で揚げる。

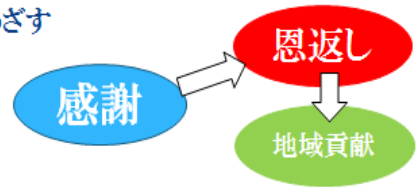
野菜と農家応援プロジェクト

燕の野菜を愛する会
吉田真由　佐藤菜緒子　箱田有咲

活動の目標	地元で作られているが、地元で作られていることをあまり知られていない野菜とその良さを地元の人に伝える。また、活動を通して地元農家さんを応援する。
活動の内容	・里芋農家さんへのインタビュー ・里芋レシピ製作 ・燕市の料理人の方にレシピインタビュー ・地元レストランとのコラボ ・ＰＲ冊子製作
活動の成果	・農家さんの生の声を聞くことができ、それを活かして里芋を燕市の人々に広められた。 ・レストランとのコラボで、自分たちの活動と里芋について深く知ってもらえた。
これからの目標	他の燕産の野菜も燕市の人々にＰＲしていきたい。

糸半プロジェクトとは？

○お世話になった地域の方々への恩返し
「中学生にできること」を考え行動する
○小池中の良さを自分たちの姿で表現する
「地域への発信」と「ボランティア精神の向上」
をめざす



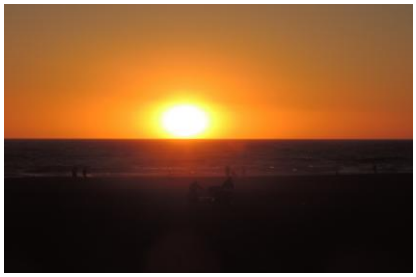
KOIKE 絆 Project

平成27年９月12日（土）晴れ　クリーン活動
大勢の中学生が参加してくれました。「みんなで一緒に町内の活動を行う。大切な、いい機会となりました。
中学生のみなさんありがとう。」

糸半（いとはん）プロジェクト

小池中学校生徒会
橘　唯可　　込山　遥

活動の目標	・中学生として今できるボランティア活動を考える ・実践を通じてボランティア活動の持つ意味を感じる ・ボランティアについて話し合い、活動を向上させる
活動の内容	・ボランティア会員募集 ・地元自治会や民生委員と連携して地域ボランティアを考える ・地域活動（ゴミ拾い等）に参加 ・お年寄り宅訪問を行う ・プレゼント用の球根植え
活動の成果	・少しずつ地域の皆さんとのコミュニケーションが取れてきた ・お年寄り宅訪問を通じて、さまざまな学びの場を得た ・ボランティア実践を通じて、学校全体のボランティアへの意識が高まった ・生徒会として大きな柱ができた
これからの目標	・自主性を重んじ、あくまで呼びかけ募集によるボランティア活動に徹する ・できることをみんなで考え、試行錯誤を繰り返しながら前進していきたい



You Tube

Homestay in San Francisco
河上 鈴華

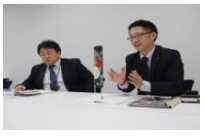
私にできる国際交流

河　上　　鈴　華

活動の目標	・異文化理解、英語スキルの向上 ・自分の将来を見つめ直す ・夢への第一歩とする
活動の内容	・サンフランシスコでの約２週間のホームステイ ・Mills High School へ訪問 ・You Tube company 本社、Stanford university への訪問 ・その他観光など
活動の成果	当初企画していたものとは、少し違う形でのホームステイになってしまったが、自分にとってとても意義のある経験となった。 旅立つ前は様々な不安があったが、それに立ち向かう行動力や失敗を恐れずに挑戦することも学べた。 また、自分の将来を考え直すきっかけとなった。
これからの目標	これらの経験を糧に将来の夢の実現に向け、受験勉強を第一に勉学に励む。 また、このホームステイでの輪をこれから先もつなげられるよう、グローバルな人材になりたいと思う。

Windows

A new wind in our city.



全世代版わたしたちのまち燕市制作プロジェクト

Windows
佐藤里佳子　吉田佳奈　箱田果秀

活動の目標	小学生のとき使っていた社会科の副教材をよりわかりやすく、親しみやすいものに作り替えることにより、同世代の市民や通勤通学者に向け、燕のＰＲをする。
活動の内容	冊子内容の取材・編集（主に食・文化・産業・人・駅）
活動の成果	生活を支える食、世界に誇るものづくりの技術、愛され受け継がれる文化、そしてこの街で生きる人たち。多くの人やモノと出会うことで、私たち自身が燕を好きになり、それを外へ発信する喜びを知りました。また、改めて燕のことを誇りに感じ、それを同世代に共有できたのではないかと思います。
これからの目標	今回燕のことを調べていくうちにもっと深く、広く燕のことを知りたいと思いました。また、それをもっといろんな形で外部に発信したいと考えました。今回できたこと、できなかったことをよく振り返り、今度は今回触れられなかったところや、伝えられなかった人たちを対象にした活動もしてみたいです。

22:24
yushoku_shindan
和洋診断
今日の夕食はどっちでしょう
スタート

③アプリ開発
Tap!
TsubakuroMap
写真準備中
吉田駅

ＩＴ　×　燕

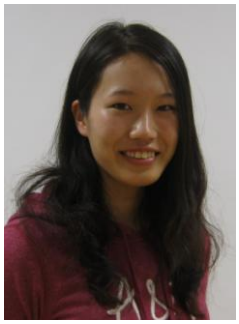
髙　橋　　哉　弥

活動の目標	①プログラミングの基礎を学ぶ ②プログラマーの方からお話を聴く ③アプリケーションの作成
活動の内容	①Life is Tech!サマーキャンプへ参加し、５日間の体験型学習でプログラミングの基礎を学びました。 ②同サマーキャンプにてメンターと呼ばれる班ごとのコーチからプログラミングにあたってどのような学習をしたかお聞きしました。 ③現在吉田駅周辺の食品情報をまとめた地図アプリを作成中。
活動の成果	①Life is Tech!サマーキャンプにて複雑なものでなければアプリケーションを作成できるだけの技能を身につけました。 ②プログラマーの方がどういった学習をしてきたか知ることができました。 ③現在、制作中です。
これからの目標	今までプログラミングは大学に行って学ぶものだと思いましたが、お話を聴いた方々は独学で学んでいました。なので、私も誰かに教えてもらうという受け身の考え方ではなく、自分で必要なものを選び身につけ、能動的な活動を行っていきたいと思います。

高校生団体
NADO

新潟高校生サミット

ものがたりカフェ



ＮＡＤＯ
代表　　山　後　　緑

活動の目標	新潟の高校生に、地元である新潟について考える機会を設けることで地元を意識し自分の将来について考えてもらう機会の創出、また様々な同世代の高校生とのかかわりを持つことで一人一人の視野を広げることを目的とする。ＮＡＤＯの活動を通して新潟の「出る杭」となる高校生を増やし、新潟県の多くの高校生が夢に向かってアクティブに行動できる空気を創り出す。
活動の内容	新潟が広いことから、なかなかひとつの場所に全域から集まるのは難しいので新潟・県央・長岡・上越に分けてそれぞれの地域のカフェで順番に開催しています。ものがたりカフェではテーマを決めず、学校や将来の話から政治や世界情勢の話まで、話したいけど学校ではなかなか話す機会のない話題をおいしい飲み物を手に「ものがたり(古語でおしゃべりすの意)」しています。「羽ばたけつばくろ応援事業」期間中には、夏から秋にかけて新潟と県央と上越で開催しました。
活動の成果	今年度開催した会についてはそれぞれ５人前後の小規模となりましたが、その分参加者たちが他参加者から得ることは多かったようです。学校でいつも一緒にいる仲の友達同士も普段は話さない将来の夢の話や、上越では開催した当時（８月）ホットな話題だった安保法などについても語ることができる機会となりました。 またＮＡＤＯの活動をもっと多くの人にしっかり知ってもらうために、ホームページを作成しました。
これからの目標	ものがたりカフェについてはこれまでの失敗、反省から少し体制を変えて、現在存在する施設を利用して「高校生用のコワーキングスペース」を創ろうと動き出しています。新潟の「出る杭」を増やすためにＮＡＤＯは挑戦を続けます。